

神の国を築く

2010/1/17

ルカによる福音書17:20-21

- 「ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。」

「神の国」とは

- 「人の国」ではない
 - 人間の作り出した秩序や価値観，法則によらず，神の秩序や価値観，法則による社会
- 「国」と言っても，政府や地域ではない
 - 「あなたがたの間」，つまり人と人の関係
- イエス・キリストの到来によってもたらされた全く新しい国
 - キリストの存在・生き方・教え

神の国のパラダイム* (山上の垂訓)

- **新しい価値観**
 - 「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。」<マタイ5:3>
- **新しい秩序**
 - 「あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさっていなければ、...決して天の国に入ることができない。」<マタイ5:20>
- **新しい優先順位**
 - 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」<6:33>

*「パラダイム」:ある時代に支配的な認識の体系・枠組み、規範。

神の国に入るには

- 子どものようになる
 - 「はっきり言っておく。心を入れ替えて子供のようにならなければ、決して天の国に入ることはできない。」<マタイ18:3>
- 貧しくなる
 - 「はっきり言っておく。金持ちが天の国に入るのは難しい。」<マタイ19:23>
- 生まれ変わる
 - 「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」<ヨハネ3:3>

神の国を築く

- 神の国のパラダイム(価値観・法則・秩序など)を身につける
 - 人の国のパラダイムに惑わされない
- 神の国の国民として生きる
 - 「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」
 - 「施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。」
- 蒔くならば(実行する)ならば必ず成長する
 - 「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」<マタイ13:31-32>

「悔い改める」ことの大切さ

- イエス様の宣教の第一声
 - 「そのときから、イエスは、『悔い改めよ。天の国は近づいた』と言って、宣べ伝え始められた。」<マタイ4:17>
- 「悔い改める」(メタノイア)とは
 - 罪を悔いて、行いを改める
 - 「心を変える、考えを変える、人生における考え方の根本をすっかり変える。目的(意図・決意)を変える。」<織田 昭>